



株主通信 62号 第75期 報告書
(2024年4月1日～2025年3月31日)

Rinnai

健全で心地よい暮らし方を創造する企業として、グローバルに活動します。



平素は格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第75期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)における営業ならびに決算の概況と今後の戦略につきまして、ご説明申し上げます。

当社グループは中期経営計画「New ERA 2025」における3つの戦略ストーリーである「社会課題解決への貢献」、「事業規模の拡大」、「企業体質の変革」の実現に向けた取り組みを推進し、5年間の中期経営計画の4年目を終えました。具体的には「社会課題解決への貢献」として定めた「生活の質の向上」および「地球環境」貢献商品の拡販を進めています。

当期の業績は、主要国において濃淡はあるものの上期からの好調を維持し、過去最高の売上高となりました。損益面では、世界的な物価上昇に伴う原材料・エネルギー価格の高騰などによる各種費用負担に加え、日本における浴室暖房乾燥機の無償点検費用を計上するなか、価格改定や原価低減活動効果によって過去最高益となりました。この結果、当期の業績は後記のとおりとなりました。なお、期末配当金は1株につき40円、年間配当金では80円とさせていただきます。

当社グループを取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況が継続するものと想定しますが、当社グループは中期経営計画「New ERA 2025」の最終年度を迎え、引き続き「生活の質の向上」と「地球環境問題への対応」をテーマに様々な商品・サービスを提供するとともに、カーボンニュートラル社会の実現に向け、リンナイカーボンニュートラル宣言「RIM2050」への対応に取り組みます。これらを通じて、お客様との約束である「Creating a healthier way of living (健全で心地よい暮らし方を創造します)」の実現と持続的で堅実な長期成長に向けた取り組みも着実に進めてまいります。以下では、改めて詳細に当期の概況と経営戦略についてご説明いたします。

代表取締役社長

内藤 弘康

2025年3月期の概況

魅力的な商品群を武器に中計目標売上を達成

前期の2024年3月期上期においては世界的な市況の低迷による減産調整もございましたが、下期から在庫水準の適正化に加えて価格改定効果によって順調に業績を伸ばし、2025年3月期におきましては過去最高売上となり中期経営計画目標値を達成するとともに過去最高益となりました。これにより中期経営計画最終年度の2026年3月期の売上高計画を4,700億円と見込んでおります。当社グループはコロナ禍以降、グループ全社連携によるグローバル調達、設計変更、余裕を持った部品および製品在庫などを実施し、より環境変化に強い経営体質を構築してまいりました。加えて今回の好業績につきましましては、長年の取り組みがまさに花開き、独自性の高い魅力的な商品群を国内外でご提供していることが背景にあると自負しています。

中期経営計画の進捗

グローバルに社会課題の解決に資する商品を展開

現在、当社グループにおいては、「生活の質の向上」および「地球環境」貢献商品として主に4つの商品—ハイブリッド給湯・暖房システムECO ONE(エコワン)、タンクレス給湯器、エアバブル商材(ウルトラファインバブル・マイクロバブル)、ガス衣類乾燥機—の拡販に取り組んでいます。

ECO ONEは高い省エネ性能から国の補助金も支給され、年間販売台数30万台目標に向けて普及が進んでいます。ガスと電気の2種類の熱源を持つことによるレジリエンスの

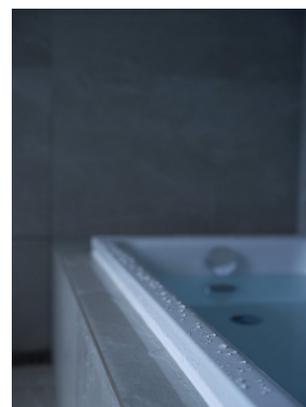
高さに加え、電力の安定供給に向けたデマンドレスポンスにも柔軟な対応が可能であり、カーボンニュートラルの実現への貢献が見込まれます。

一方で瞬間的に出湯するタンクレス給湯器は、米国等で主流の沸かしたお湯を貯湯するタンク式給湯器に比べて省エネ性能が高く、また湯切れのおそれがないメリットを訴求し、拡販に努めています。また、エアバブル商材については微細な気泡を発生させたお湯への入浴による健康増進・美髪効果に加え、高い洗浄力によって日々の掃除の負担を軽減でき、日本をはじめとしたアジア圏で展開しています。さらにガス衣類乾燥機「乾太くん」はガスならではのパワフルな温風による短時間での乾燥を実現することで、家事の時短につながり、世界14カ国で展開しています。これらに加えて、シニア向けガスコンロ SAFULL+(セイフルプラス)が認知症の人の生活課題の解決や助けとなる製品・サービスとして表彰されるなど、リンナイブランドの商品・サービスは「社会課題解決への貢献」をするものとして着実にご評価を得ています。

その基盤には「品質こそ我が命」を原点思想とする徹底した品質へのこだわりがあります。誠に遺憾ながら、2025年4月、当社は製造から10年以上経過した浴室暖房乾燥機において、ごくまれに発火に至るおそれが判明し、それに伴う無償での点検・修理の実施を発表しました。生活必需品である商品・サービスだからこそ、改めて気を引き締め、細心の注意を払ってリンナイの圧倒的な品質を維持し続けてまいります。

※ECO ONEのカーボンニュートラル実現に向けた可能性についてはP 9-10をご参照ください。
※SAFULL+の表彰についてはP 11をご参照ください。

2026年3月期計画
連結売上高 4,700億円 (国内 2,020億円、海外 2,680億円)
営業利益 500億円 投下資本利益率(ROIC) 12.0% 総還元性向(5年平均) 77.3% ROE 8.0% 配当性向 42.1%
「生活の質の向上」貢献商品売上高(2020年度比) 100% UP 「地球環境」貢献商品売上高(2020年度比) 70% UP CO ₂ 削減貢献量 2025年度目標 531万t



エアバブル商材イメージ

リンナイの経営戦略

戦略市場においても利益を確保

戦略市場である米国では省エネ意識の高まりからタンクレス給湯器市場が伸長するなか、リンナイが新商品として導入した業界最高効率の家庭用コンデンス給湯器やボイラーの販売が好調に推移しています。リンナイアメリカでの現地生産による稼働率の向上が利益率を押し上げ、2025年3月期の黒字(営業利益)転換につながっています。

中国では景気低迷が続くものの、リンナイブランド=高品質の認知が消費者に浸透しており、政府による高効率商品への補助金を追い風にECチャネルでの販売は堅調に推移しています。原価を徹底的に作り込んだPF2.0給湯器(主力モデル)を様々な価格帯で展開していることも利益に貢献しています。

その他、オーストラリアではガスへの規制が強化されるなか、積極的なM&Aや新規商材を取り扱い、ガス機器に加えて電気タンク式給湯器やヒートポンプ式給湯器などのラインアップを増やし、多角化を進めています。

世界の多様なエネルギーニーズに応える

リンナイのグローバル事業は現地生産・現地販売を基本とし、住環境や気候風土に合った商品・サービスの提供や現地で積極的に人材を採用しています。この基本方針を継続しつつ、世界各国・地域における多様なエネルギーニーズ・規制に対応するために、今後は一層、グループの連携を深める必要があります。

世界の^{すうせい}趨勢に鑑みて、発展途上国を中心にガス機器が普及しやすい一方で、化石燃料から再生可能エネルギーへの転換が進む国・地域では電化商材への取り組みが重要と認識しています。例えば、米国では一部の州でガス規制強化の動きがあるなか、既にヒートポンプ式給湯器を発売しています。日本ではガスと電気のハイブリッド給湯・暖房システムECO ONEを発売しておりますが、今後は電化商材の拡販も視野に入れるなど、事業ポートフォリオの見直しを推進する予定です。こうしたなか、グループ企業が一堂に会した世界会議、技術者の交流、商品企画に関する情報交換を活性化しています。

また2025年4月に組織を創設したイノベーションセンターでは、社会が大きく変わる今、電化商材も含めて必要とされる機器開発・研究に取り組んでまいります。この一環として当社はECO ONEのデマンドレスポンスについて実証実験を開始しています。給湯器単品ではなく当社他製品もしくは他社エネルギー機器とつなげることで、エネルギーの安定供給に向けた様々な可能性が広がると考えています。さらに、当社グループは日本(北九州市)とオーストラリアで水素100%燃焼給湯器の実証実験を行っているほか、トヨタ自動車株式会社と共同開発した水素グリラーで国内初となる一般財団法人日本ガス機器検査協会(JIA)の認証を取得するなど、将来のエネルギー機器の可能性に向けて多角的に準備しています。



企業体質の変革

基盤強化に向けた多角的な取り組みを実施

中期経営計画「New ERA 2025」においては未来のリンナイを担う人材を創出すべく、人材育成、スキルアップ、働き方、モチベーション向上、職場環境等の各種取り組みを推進してまいりました。女性管理職が増えるなど人材の多様化も進むなか、さらに階層的な研修を拡充するなど次期中期経営計画期間における教育制度の充実について検討を始めています。グローバル人材、次世代リーダーの育成に向けて、さらなる意識改革を促す必要性を認識するとともに、コンプライアンス意識の徹底は最重要テーマであり、不正行為や法令違反などを内部通報できる「企業倫理相談窓口」を社内外に設け、常に適切な運用を心がけています。

ガバナンス体制につきましては、取締役全9名の内4名が独立社外取締役となっており、他社での経営経験者または学識経験者が選任されるとともに、女性2名が含まれ、多様性も確保されています。また、取締役会の諮問機関である指名諮問委員会は委員の過半数を独立社外取締役に占めますが、2024年2月からは委員長を独立社外取締役に変更し、取締役の指名に関する客観性と透明性を一層高めました。

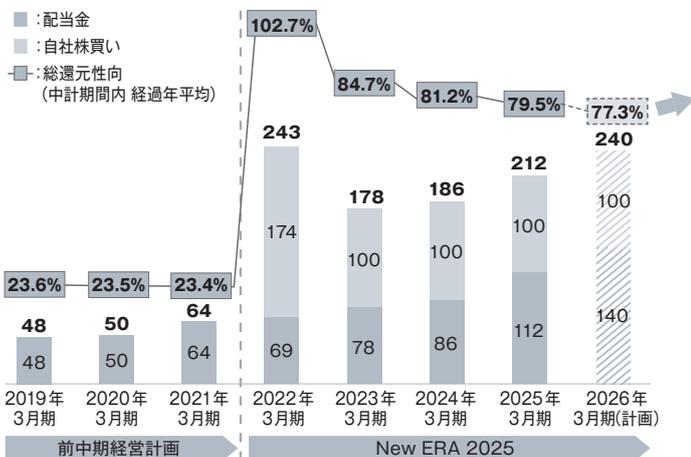
一方で、中期経営計画「New ERA 2025」においては資本コストを十分に考慮した上で、中長期的な企業価値向上を見据えた成長投資に取り組んでいます。イノベーションセンターの準備を進めるほか、2023年に取得した東京・南青山の土地・

建物については、2025年7月に新たなユーザーとの接点となるブランド体験施設「Rinnai Aoyama (リンナイ青山)」をグランドオープンする予定です。また、さらなる資本効率化に向けて配当性向の引き上げと機動的な自己株式取得も実施してまいりました。その結果、2025年3月期の配当性向は38.2%、総還元性向は79.5%となり、中期経営計画「New ERA 2025」の目標数値を大幅に上回っています。

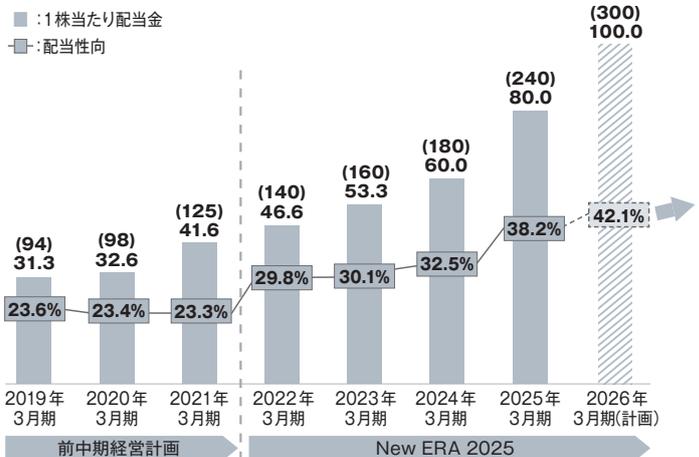
“驚きと感動”に満ちた商品・サービスを提供する

リンナイは「熱と暮らし」「健康と暮らし」をテーマとした商品・サービスの提供に努め、健全で心地よい暮らしの実現を目指しています。そのためには商品開発においては常に環境や社会に与えるネガティブな影響を最小限にすることを念頭に置くと同時に、“驚きと感動”を与える商品・サービスであるべきだと考えています。現在の主力であるECO ONE、タンクレス給湯器、エアバブル商材、ガス衣類乾燥機はいずれも、お客様に新たな“驚きと感動”をご提供したからこそ、グローバルな市場でご評価いただいていると自負しています。しかしながら、持続的にリンナイが成長し、皆様のお役に立つ商品・サービスをご提供し続けるためには、常に新たな課題に挑戦し続けなければなりません。株主の皆様には今後のリンナイにご期待いただくとともに、ご理解とご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

総還元性向(平均)の推移 (億円)



1株当たり配当金・配当性向推移 (円)



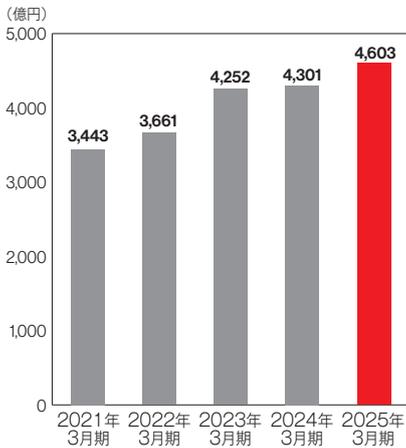
■ 中計目標：総還元性向(5年平均)：40% 配当性向：40% ■ 成長投資とのバランスを見据えた還元政策を進める

※ 当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。()内は分割考慮前ベース。

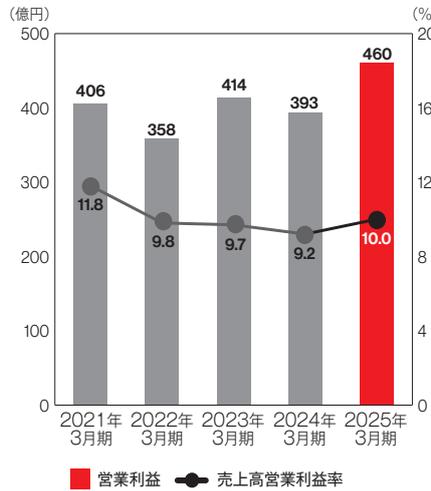
2025年3月期のポイント

- 売上高は、通年で正常な事業環境が継続、過去最高売上を更新し**5期連続の増収**
- 営業利益は、各種コストが増加するなか、増収効果と原価低減活動の徹底によって、**過去最高益を達成**
- 1株当たり配当金は80円。**23期連続の増配**

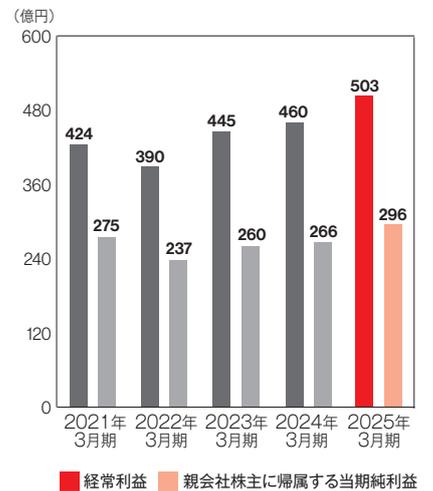
売上高



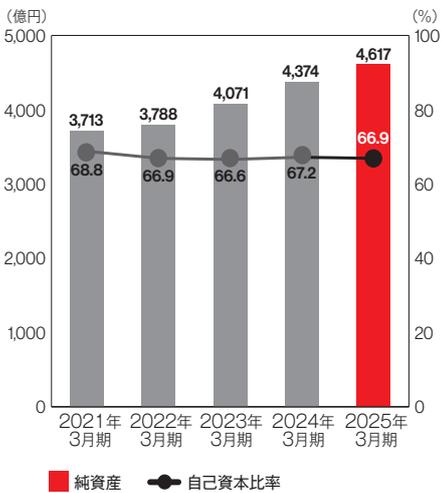
営業利益、
売上高営業利益率



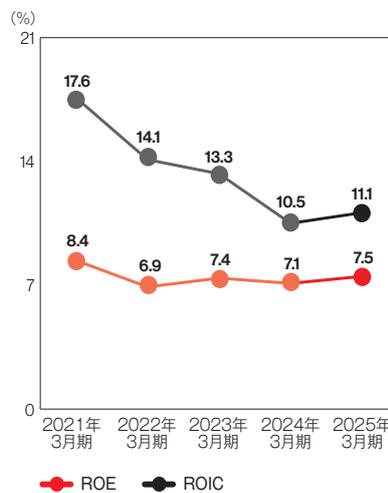
経常利益、
親会社株主に帰属する当期純利益



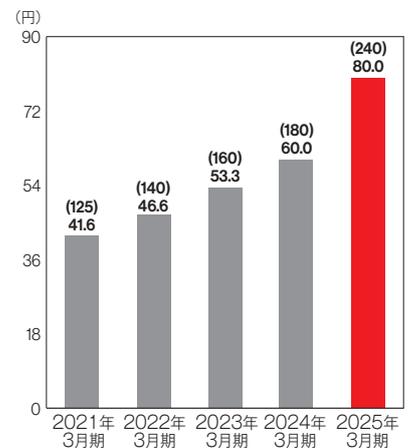
純資産、自己資本比率



ROE、ROIC



1株当たり配当金 (年間)



※ 投下資本利益率 (ROIC) = 営業利益 (みなし税引き後) ÷ 投下資本 (売掛金 + 在庫 - 買掛金 + 固定資産 (有形・無形))

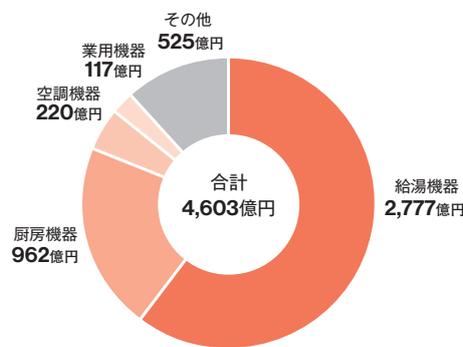
※ 当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。
※ ()内は分割考慮前ベース

機器別売上高のポイント

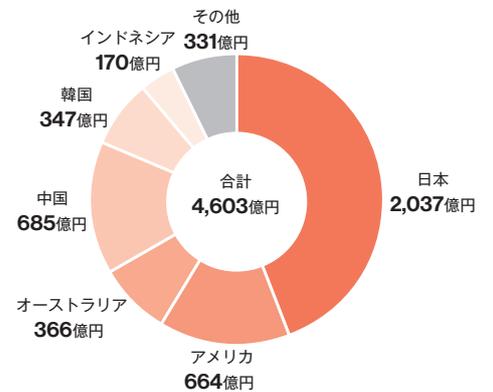
- 給湯機器は、国内においては、補助金の追い風を受けたハイブリッド給湯・暖房システムが伸長、アメリカでは新製品のコンデensing給湯器が伸長し**増収**
- 厨房機器は、インドネシアの堅調な買い替え需要と、韓国における競合企業の撤退により販売が好調に推移し**増収**

部門	主要製品
給湯機器	給湯器、ふろ給湯器、給湯暖房機、ハイブリッド給湯・暖房システム等
厨房機器	テーブルコンロ、ビルトインコンロ、オープン、食器洗い乾燥機、レンジフード、炊飯器等
空調機器	ファンヒーター、FF暖房機、赤外線ストーブ等
業用機器	業務用焼物器、業務用レンジ、業務用炊飯器等
その他	衣類乾燥機、赤外線バーナー、部品等

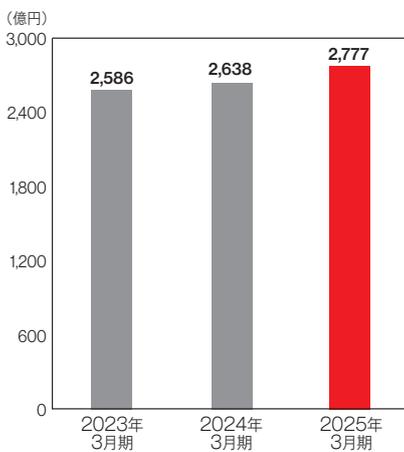
機器別売上高



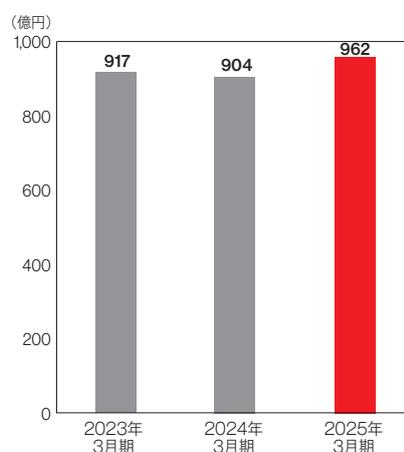
地域別売上高



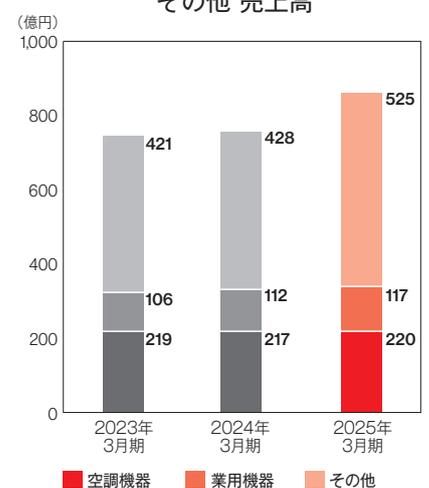
給湯機器 売上高



厨房機器 売上高



空調機器、業用機器、その他 売上高

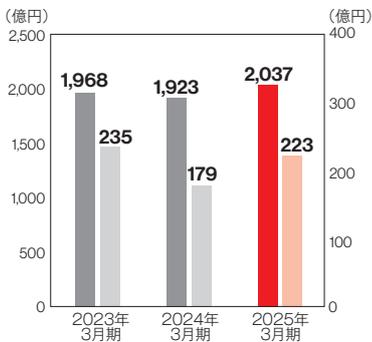


地域別概況 ■ 売上高 ■ 営業利益

日本



高効率給湯器 エコジョーズ
レンジフード ビルトインコンロ
衣類乾燥機

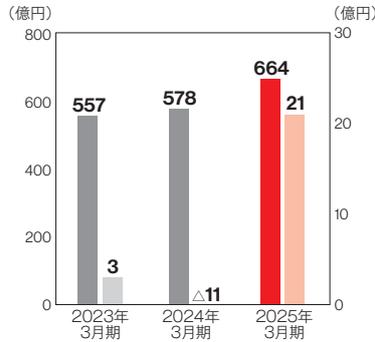


独自性の高い重点商品(ハイブリッド給湯器、ガス衣類乾燥機、エアバブル)の販売好調が業績を牽引し、**増収増益**

アメリカ



タンクレス給湯器
FF暖房機

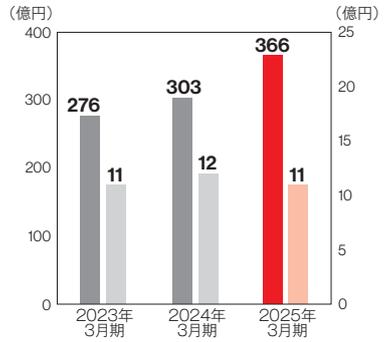


省エネ志向の高まりから、タンクレス給湯器が伸長するなか、新型コンデensing給湯器販売が好調に推移し、**増収増益**

オーストラリア



タンクレス給湯器
電気貯湯式給湯器
ダクト式冷暖房システム

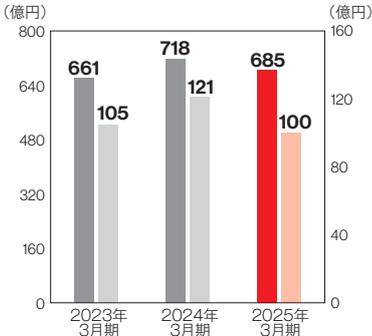


電化に向けた企業買収効果も寄与し**増収**するも、のれんの消却等により**減益**

中国



タンクレス給湯器
ビルトインコンロ
レンジフード

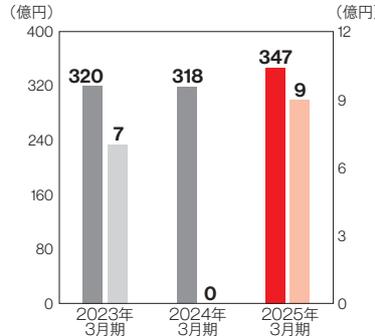


下期にかけて、消費が落ち込み**減収**となるなか、経費削減などの経営努力を徹底するも**減収**を打ち返せず**減益**

韓国



テーブルコンロ
ボイラー
業務用スチームオープン

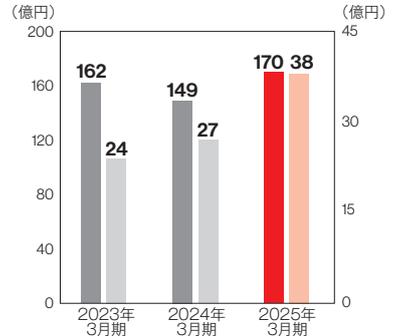


主力のボイラー販売では厳しい状況が継続するなか、引き続き厨房機器販売が好調に推移し、**増収増益**

インドネシア



テーブルコンロ
ビルトインコンロ



高いシェアを維持するテーブルコンロ販売に加え、より高価格帯であるビルトインコンロなどが伸長し**増収増益**

連結貸借対照表 (単位: 百万円)

当期末 (2025年3月31日現在)

前期末 (2024年3月31日現在)

	当期末	前期末
資産の部		
流動資産	362,482	341,437
固定資産	244,103	235,650
有形固定資産	152,293	147,425
無形固定資産	7,791	3,642
投資その他の資産	84,019	84,582
資産合計	606,586	577,088
負債の部		
流動負債	108,605	106,890
固定負債	36,262	32,759
負債合計	144,867	139,650
純資産の部		
株主資本	356,994	346,470
資本金	6,484	6,484
資本剰余金	8,428	8,428
利益剰余金	352,932	342,493
自己株式	△10,851	△10,936
その他の包括利益累計額	48,851	41,304
非支配株主持分	55,872	49,663
純資産合計	461,718	437,438
負債 純資産合計	606,586	577,088

連結損益計算書 (単位: 百万円)

当期 (2024年4月1日から2025年3月31日まで)

前期 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)

	当期	前期
売上高	460,319	430,186
売上原価	304,257	292,343
売上総利益	156,062	137,842
販売費及び一般管理費	110,056	98,479
営業利益	46,005	39,362
営業外収益	5,280	7,625
営業外費用	962	916
経常利益	50,323	46,071
特別利益	843	204
特別損失	1,280	355
税金等調整前当期純利益	49,886	45,921
法人税等	12,698	11,391
当期純利益	37,188	34,529
非支配株主に帰属する当期純利益	7,497	7,862
親会社株主に帰属する当期純利益	29,691	26,667

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

当期 (2024年4月1日から2025年3月31日まで)

前期 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)

	当期	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,502	43,347
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,685	△19,968
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,503	△23,664
現金及び現金同等物の期末残高	136,300	123,829

特集：ガスと電気のハイブリッド給湯器ECO ONE (エコワン) の カーボンニュートラル実現に向けた可能性

2050年のカーボンニュートラルに向けて、電気ヒートポンプとガス給湯器を組み合わせ、優れた省エネ性能を発揮するハイブリッド給湯・暖房システムECO ONEの普及・拡大を目指しています。

デマンドレスポンスへの取り組み

リンナイは、ECO ONEのデマンドレスポンス(DR)についてエネルギー仲介業務を行う株式会社エナリスと、実証実験を開始しています。

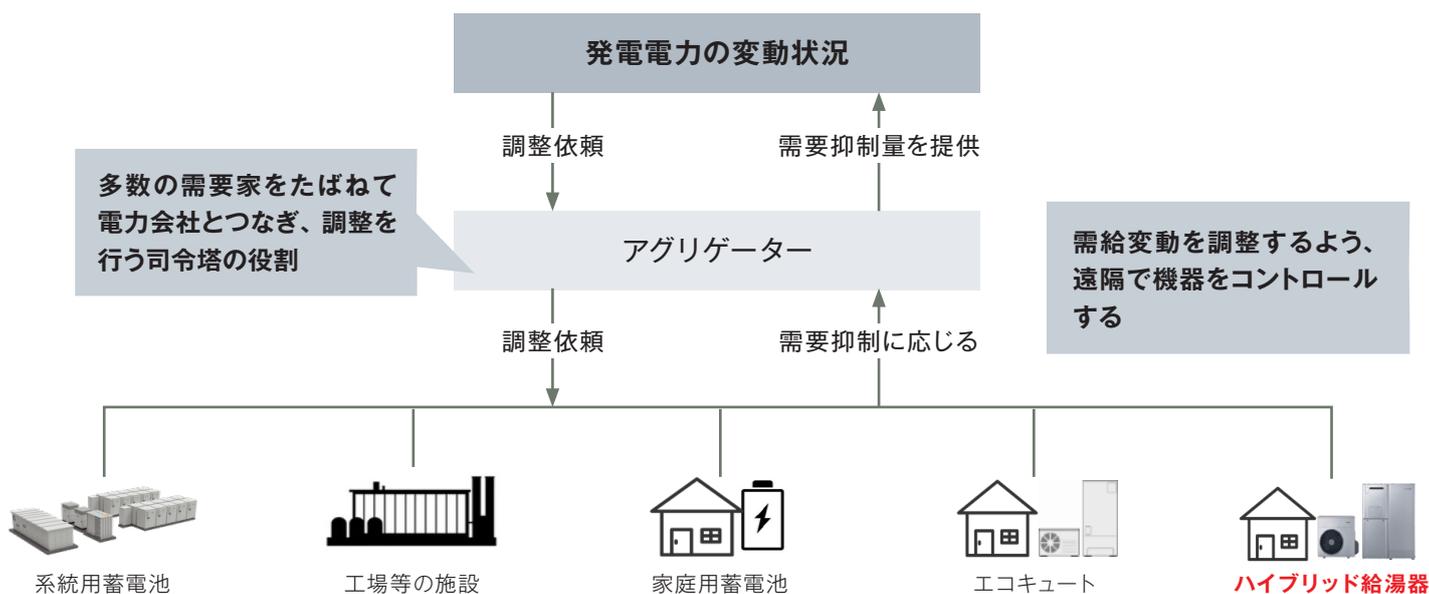
デマンドレスポンス

電力を供給する側でなく、消費する側が、需給のバランスを取るため電力使用量の調整を行うことです。再生可能エネルギー（以下、再エネ）主力電源化に向け、再エネの不安定な出力を補う調達手段となります。今後、普及拡大が見込まれる家庭用蓄電池やヒートポンプ給湯器、電気自動車など、一般家庭などに設置される電気を使用する設備を通信ネットワークを介して遠隔操作し、電力の供給バランスを調整します。



ハイブリッド給湯器ECO ONE

デマンドレスポンスの仕組み



電力が余っている時間帯には消費側が電気を優先して使用・蓄熱し、電力が不足する時間帯には蓄電した電気や蓄熱した湯、もしくはガスを使用することで電力の安定供給に対応します。

調整方法

— 電力

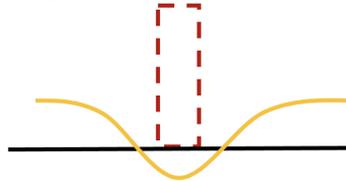
「上げDR」

電力が余る時間帯に積極的にお湯を沸かして電力消費量を増やします。



「下げDR」

需給がひっ迫する時間帯に沸き上げを停止することで電力消費量を下げます。



「上げDR」と「下げDR」の両方から需給調整が行えるのは、ガスと電気の両方でお湯を沸かせる**ECO ONE**だけの強みです。

国をあげて高効率給湯器を普及

デマンドレスポンスで活躍が期待されるECO ONEは、給湯由来のCO₂排出量を56%削減*する高い省エネ性能や環境性能が評価され、国をあげての普及が行われています。「給湯省エネ2025事業」では、2024年に引き続き家庭のエネルギー消費で大きな割合を占める給湯分野について、高効率給湯器の導入支援が行われています。

* ECO ONE 160Lタイプの場合



ECO ONEは、国の省エネ事業基準の全てを満たし、1台あたり15万円の補助金が支給され、リンナイの2030年目標であるECO ONE販売台数年間30万台に向けて大きく前進しています。

補助金15万円還元



2024年度
販売台数は
前年度比 **約1.4倍**

2030年
販売台数
30万台へ

シニア世代向けガスコンロ「SAFULL+ (セイフルプラス)」が「オレンジノベーション・アワード2024」特別賞を受賞

SAFULL+



オレンジノベーション・アワードとは

認知症イノベーションアライアンスワーキンググループ事務局（経済産業省）が主催する賞で、認知症の人の生活課題解決や助けとなる製品・サービスの開発に取り組む企業等を表彰する取り組みです。「当事者参画型開発」の認知が広がり、共生社会が実現されることを目指します。



シニア向けガスコンロ「SAFULL+ (セイフルプラス)」は高齢者に「使いやすさ」や「安心」を提供することをテーマに官民共同（西部ガス株式会社、福岡市、株式会社メディヴァ）で開発したガスコンロで、2024年2月1日から発売を開始しています。福岡市在住の認知症当事者や支援者等が開発の初期段階から参画し、誰もが使いやすいカラーリング、大型ごとか、音声案内などを実装しています。

はっきりとした色使いで視認性を向上



- ✓ 大型ごとかとバーナー周りの部品を黒色に統一し、炎を見えやすく
- ✓ 左コンロと右コンロの点火スイッチを天板表示に合わせた配色にすることで、迷うことなく操作が可能に

使用中はライトでお知らせ



- ✓ 点火スイッチにLEDライトを搭載
- ✓ 屈んで炎を覗かなくても、スイッチで点火が確認できる
- ✓ エラーが発生した時は、ライトが点滅してお知らせ

認知症の方の視界をARでモニタリング検証

受賞にあたりケアセンターで働く方や認知症当事者の方の声を取り入れた開発プロセスをご評価いただきました。一例として色や陰影が認識しづらい、視野が狭いなど、認知症の方の視界をARで再現、安全性を考慮し、料理をするのに必要な操作部分が認識されやすいよう、モニタリングを繰り返しました。



国内初、水素燃焼機器で JIA 認証を取得

リンナイは、トヨタ自動車株式会社（以下、トヨタ）と共同開発した水素グリラーの実証機にて、一般財団法人 日本ガス機器検査協会（JIA）が2024年11月18日に制定した「業務用水素ガス厨房機器検査規程」において、国内初となる認証を取得しました。

リンナイは水素が生活の様々な場面で安全に使用される身近なエネルギーとなることを目指し、2022年に開始したトヨタとの水素調理に関する共同開発を通じて、純水素を安全に燃焼させる技術を確認し、水素グリラーの開発を進め、2024年12月24日に認証を取得しました。これは当該検査規程の第1号の認証となり、持続可能な社会の実現に向けた重要な一歩となりました。リンナイは、今後もトヨタと協力し、カーボンニュートラル実現に向け開発を進めてまいります。



純水素ガス厨房機器の
認証マーク



今回認証を取得した水素グリラー

ガス衣類乾燥機 乾太くん「JIDA デザインミュージアムセレクションVol.26」選定

リンナイのガス衣類乾燥機「RDT-63/RDT-93」（「乾太くんデラックスタイプ」）が「JIDA デザインミュージアムセレクション Vol.26」（主催：公益社団法人 日本工業デザイン協会）に選定されました。「JIDA デザインミュージアムセレクション」は、デザインの「心豊かな未来の共創」をテーマに、国内で流通している優れた工業デザインを選定し表彰するものです。審査ではガス式衣類乾燥機が電気式に比べて圧倒的な速さとソフトな仕上がりを特徴として家事の負担を大幅に軽減する魅力を踏まえ、無駄を無くし、操作系も単純化し整理されたデザインが高く評価されました。



バドミントン日本代表パートナーを継続

リンナイは、日本バドミントン協会の日本代表パートナーを、2025年4月から2029年3月までの4年間、ゴールドスポンサーとして継続することを決定しました。リンナイは2018年4月からシルバースポンサーを務めており、公式ユニフォームの右肩に当社ロゴが掲出されていましたが、2025年度からはゴールドスポンサーに移行するため、ロゴの掲出位置が胸上に変更されます。日本代表選手には世界ランキング上位の選手が多数在籍しており、ロサンゼルスオリンピック(2028年)でのメダル獲得が期待されます。



HEAT IT UP!
Rinnai x Badminton



会社データ・株式の状況

会社概要 (2025年3月31日現在)

創 業 1920(大正9)年9月1日
設 立 1950(昭和25)年9月2日
資 本 金 6,484,416,754円
本 社 〒454-0802 名古屋市中川区福住町2-26
TEL 052-361-8211 (代表)
従業員数 連結10,908名、単体3,512名

国内ネットワーク (2025年3月31日現在)

生産関連拠点:技術センター、生産技術センター、春日井物流センター、厚木物流センター、大口工場、瀬戸工場、暁工場

支社:東北、関東、中部、関西、九州

支店:北海道、北東北、仙台、新潟、東京、北関東、東関東、南関東、東海、静岡、北陸、長野、大阪、京滋、兵庫、中国、四国、福岡

営業所・出張所等:(85カ所)

その他国内事業所:研修センター(11カ所)、お客様センター

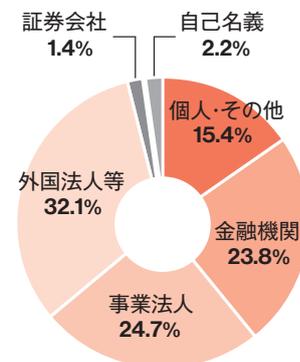
役員 (2025年6月25日現在)

代表取締役会長	林 謙治	常勤監査役	清水 正則	執行役員	谷岡 克則
代表取締役社長 社長執行役員	内藤 弘康		加島 厚朗		穂谷野弘幸
代表取締役 副社長執行役員	成田 常則				内藤 大祐
取締役 専務執行役員	白木 英行	監査役(社外)	松岡 正明		竹本 安伸
	井上 一人		渡邊 一平		
取締役(社外)	神尾 隆	常務執行役員	中島 忠司		
	小倉 忠		大井 裕久		
	土地 陽子		小川 拓也		
	佐藤 久美		高須 芳彦		
			西澤 勇生		
			遠藤 健治		

株式構成 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数 600,000,000株
発行済株式数 143,888,571株(自己株式を含む)
株主数 8,907名

所有者別株式分布



リンナイグループ (2025年3月31日現在)

国内子会社 (12社)

製品の製造販売

- (株)柳澤製作所
- リンナイテクニカ (株)
- (株)ガスター

製品の販売

- リンナイネット (株)

部品の製造販売

- アール・ビー・コントロールズ (株)
- リンナイ精機 (株)
- アール・ティ・エンジニアリング (株)
- 能登テック (株)
- テクノパーツ (株)

その他の事業

- リンナイ企業 (株)
- 他2社

海外子会社・関連会社 (39社)

持株会社および製品の販売

- リンナイホールディングス (バシフィック) (株)

製品の製造販売

- リンナイアメリカ (株)
- リンナイオーストラリア (株)
- 上海林内有限公司
- リンナイコリア (株)
- リンナイインドネシア (株)
- リンナイニュージーランド (株)
- 台湾林内工業股份有限公司
- リンナイタイ (株)
- リンナイベトナム (有)
- リンナイブラジルヒーティングテクノロジー (有)
- リンナイマニユファクチャリングマレーシア (株)
- インダストリアスマス (株)
- サーモソリューションズグループ (株)

製品の販売

- リンナイイタリア (有)
- 林内香港有限公司
- リンナイカナダホールディングス (株)
- 広州林内燃具電器有限公司
- セントラルヒーティングニュージーランド (株)
- スマートエナジーグループ (株)
- * リンナイプラス (株)
- * リンナイマレーシア (株)
- * リンナイ UK (株)
- * リンナイトレーディング (株)
- * クールブリーズ FM (株)
- 海南林内民生燃具厨衛販売有限公司

部品の製造販売

- アール・ビー・コリア (株)
- * 上海燃宝控制器有限公司
- 三国 RK 精密 (株)

その他の事業

- アイゾーン (株)
- 他9社

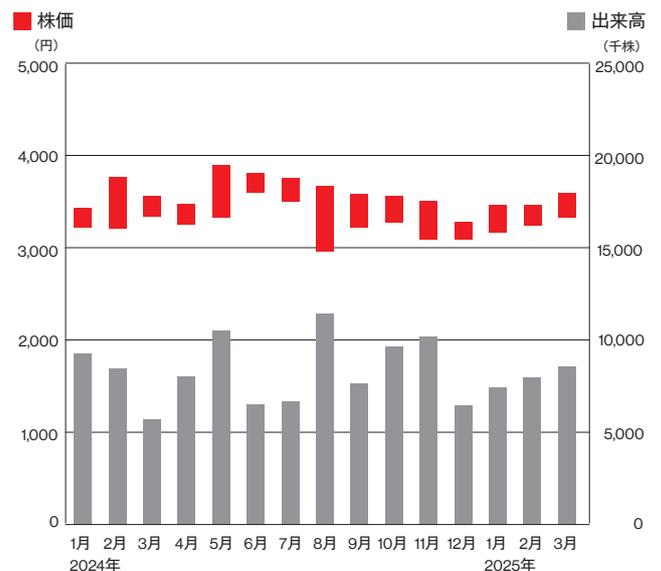
○ 連結子会社 * 非連結子会社 (持分法非適用) ● 持分法非適用関連会社

大株主 (2025年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)
内藤株式会社	18,647
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	16,814
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	9,215
林 謙治	7,369
公益財団法人リンナイ奨学財団	4,200
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	3,031
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	2,589
全国共済農業協同組合連合会	2,487
リンナイ社員持株会	2,166
内藤 万琴	1,710

※当社は自己株式 3,248 千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

株価の推移



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 https://www.rinnai.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1-4-1
特別口座の口座 管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1-4-1
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間：平日9:00～17:00
株式の上場	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場

株式に関するお手続きのお申し出先

1. 未払配当金の支払いのお申し出先

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申し出先

- ① 証券会社に口座をお持ちの株主様の場合、お取引証券会社等
- ② 証券会社に口座をお持ちでないため、特別口座が開設されました株主様の場合、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

リンナイ Web オリジナル



毎日の料理を
もっと豊かにする
Web限定モデル

<https://rinnai.jp/weboriginal/>



リンナイ公式オンラインストア



Rinnai Style

リンナイ製品のある暮らしをもっと豊かにする
お料理やお掃除など、便利なアイテムの販売や
暮らしに役立つ情報をご提供します。

<https://www.rinnai-style.jp/>



リンナイ株式会社

<https://www.rinnai.co.jp/>

〒454-0802 名古屋市中川区福住町2-26
TEL 052-361-8211